

「情報と職業」授業評価報告書

技術教育・大西 義浩

1. 授業の概観

本科目は情報教育コースのコース選択必修科目であり，リテラシー・地域・教育系4科目の一つである。本コースでは，この4科目の中から2科目4単位を取得することが卒業要件である。また，本科目は，高等学校情報免許の必修科目でもある。今年度は3回生と4回生の計12名が履修した。本科目は，従来法文学部に委託（学生は法文学部の授業を受講）しており，担当者の退職ならびに法文学部での同名科目の開講取り消しによって，教育学部独自で開講する必要が生じた。そのため，報告者が本年度から新たに担当することになった科目である。

2. 授業の目的と構成

本科目は，情報免許必修という面から，学習指導要領では，「情報化の進展が生活に及ぼす影響」，「情報化と社会生活」，「情報産業の発展と社会」といった項目に関する分野を対象としており，情報化により生活や社会がどう変わり，どのような職業が出現したか？を学習することが目的であると考えられる。ただし，この分野は日進月歩であり，現時点の状況を学習したところで，学生が教壇に立つ際に陳腐化した知識になる恐れがある。そのため，情報技術と生活や産業との関わりを意識しながら，現状の具体例を紹介する講義を前半に行い，後半では，業種ごとに情報技術を使ってどのようなサービスが提供できるかという課題をグループごとに課した。

3. 授業評価法と分析

期末試験終了後に授業評価アンケートを行った。質問と回答選択肢は以下の通りである。また，アンケートの回答結果を表1に示す。有効回答数は7であった。

- 講義は分かりやすかったですか？
① 分かりやすい②・③・④分かりにくい
- 講義資料・板書は分かりやすいですか
① 分かりやすい②・③・④分かりにくい
- 講義資料への書き込み量はどうか？
① 多い ②・③・④少ない

- グループワーク課題は適切でしたか？
① 妥当 ②・③・④授業題目から離れている
- グループワークで得られるものはありましたか？
① 簡単 ②・③・④難しい
- この授業で初めて知ったことはありましたか？
① あった ②・③・④なかった
- (必修科目の単位としてではなく)この授業によって得られた知識・技能はあなたにとって役に立ちましたか？
① 役に立った ②・③・④役に立たない

表1 授業終了時のアンケート結果

	①	②	③	④
問1	4	3	0	0
問2	4	3	0	0
問3	4	3	0	0
問4	3	4	0	0
問5	4	3	0	0
問6	7	0	0	0
問7	4	3	0	0

まず，講義の理解度に関する問1および問2ではおおむね良好な結果が得られている。グループワークについても，手探りな課題設定であったが，妥当だと感じていたことがわかる。

4. 時間外学習について

グループワーク終了時にグループワークの準備にかけた時間を匿名で問うたところ，平均4.28時間（最大7，最小0）となった。この科目は，演習メインで評価をすると学生に明言していたこともあるが，グループワークはプレゼンテーションを課したこともあり，1コマ（2時間換算）に対して，平均値では大学設置基準の定める4時間以上の時間外学習が行われたことがわかる。適切な課題設定を行うことで，授業時間外学習時間が促進されることがわかった。しかし，グループワークということもあり，中には0時間，つまり全く時間外学習をしなかった学生もおり，これをどうするかが今後の課題であると考えられる。